

名 称	鹿沼市子ども・子育て会議（第2回）
日 時	令和7年2月6日（木）午前10時00分～12時10分
場 所	鹿沼市役所2階 第1委員会室
出 席 者	委員（敬称略）13名 星順子、小又美里、小島里枝子、小野口正子、湯澤光江、金子晃子、植木良充、羽布津章義、田島雅哉、青木美智子、仲田知史、早川勝弘、青山佐知子 事務局 12名 杉山こども未来部長、古橋子育て支援課長、松島保育課長、飯塚こども・家庭サポートセンター所長、石嶋こども支援係長、堂前保育推進係長、竹澤保育認定係長、川中子こども・家庭相談係長、菅保護係長、高橋母子健康係長、川田生涯学習課長補佐兼青少年係長、木村主査 欠席委員（敬称略）5名 橋本慎平、永田由美子、細川朋子、清水玲奈、藤井一夫
内容及び結果	1. 開 会 2. 会長あいさつ 新任委員自己紹介（羽布津章義 氏） 3. 議 事（進行：星委員） （1）若者の生活や意識に関する調査及び婚活に関する調査結果について 資料1、資料2に沿って事務局より説明：石嶋こども支援係長 結果報告 ・回答者の全員が「こどもが欲しい」と回答 ・回答者の7割が「鹿沼市でこどもを産み育てたい」と回答 ・経済的支援の不足を認識（児童手当、医療費助成等） ・婚活イベント増加の要望 主な意見・質問：特になし （2）鹿沼市こども計画（案）について 資料3に沿って事務局より説明 こども計画本編：石嶋こども支援係長 子ども・子育て支援事業計画：石嶋こども支援係長、竹澤保育認定係長、木村主査 保育園整備計画：堂前保育推進係長 資料編：石嶋こども支援係長

(資料訂正・修正箇所) 4 ページ：「2.保育認定について」の掲載場所の変更 15 ページ：母親の年齢別出生数の推移 35～39 歳の表記漏れ 26 ページ：婚活に関する調査 回収率 78.9% ⇒ 73.9% 81 ページ：子育てに関する情報の提供（利用者支援事業）タイトル等一部修正 108 ページ：放課後児童健全育成事業 利用状況（低学年） 令和 6 年度 1,054 ⇒ 1,053 達成状況利用実績 令和 6 年度 1,380 ⇒ 1,384 ※他にも脱字等の軽微な訂正・修正有
主な意見・質問と回答
(仲田委員) 計画書全体のカラー化について。前回の計画書と比較して見やすさの向上が期待できる。総合計画のように色分けを検討してほしい。
(古橋子育て支援課長) 現段階では白黒で作成しているが、より見やすさを重視し、可能な限りカラーを取り入れ、体裁を整えながら作成を進めたい。
(杉山こども未来部長) 会議で表紙等のデザイン案を提示し、委員に選んでもらうことも検討している。
(星委員) 「こどもの生きる力の育成に向けた教育・保育の環境の充実」（57 ページ）において、「(5) 幼稚園教育の充実」の項目に幼稚園・認定こども園のみが記載されている。保育園における教育の充実についても記載すべきではないか。
(古橋子育て支援課長) 「(6) 保育サービスの充実」（57 ページ）の項目で別途表現している。
(小野口委員) 「幼稚園教育の充実」に限定するのではなく、「教育の充実」という表現が良いのではないか。また、教育と保育を分けなくても良いのではないか。
(松島保育課長) 「(5) 幼稚園教育の充実」については、皆様が納得のいく表現に訂正する。
(星委員) 102 ページでは、教育と保育の一体的提供が示されている。施設類型を問わず質の高い学びを保障する視点から教育・保育の表現について検討をお願いしたい。
(早川委員) 「いじめ不登校対策」（58 ページ）において、前回の計画にあった適応指導教室の記述がない理由について。法律改正や表現の意図について説明を求めたい。

(飯塚こども・家庭サポートセンター所長) 文部科学省では適応指導教室という名称を使わない傾向になっているようで、鹿沼市でも昨年度『適応指導教室条例』を一部改正し、名称を『アメニティホーム条例』に改正した。アメニティホーム自体は存在しているので、計画にどのように掲載するかは担当の学校教育課の方で検討することとする。
(植木委員) 計画の中に婚活に関する記載があるが、子ども・子育て会議の管轄として適切なのか。出生率を上げる部署が別に存在するのか。
(杉山こども未来部長) こども計画自体が初めての作成であり、関連計画と合わせて作成しているため、ボリュームが多くなっている。子育て支援課で婚活支援事業を行っており、妊娠期からの切れ目ない支援という観点から記載している。
(仲田委員) 人材の確保や育成に関する事項が少ない。保育、教育、児童福祉等の事業者における人材確保の支援は盛り込まれないのか。
(杉山こども未来部長) こども大綱では広い意味でこどもの育成という視点が入っている。当計画でも、こどもの成長を支える体験や居場所の提供促進、若者の将来の希望を叶える取り組み等で対応している。人材の「確保」政策については、現時点では本計画には盛り込まれていない。他部局との連携も検討していきたい。
(仲田委員) 鹿沼市の公式 LINE で保育課からの募集情報が発信されている。保育士不足等の専門職の不足をどのように計画に盛り込むのか。
(松島保育課長) 保育士不足は深刻であり、現時点では万策尽きている状況だが、今後、保育士不足という言葉が消えるように取り組みを検討していきたい。
(小野口委員) 「Ⅰ 若者にとって魅力ある地域づくり」(62 ページ)の中に、アパート等の住居に対する補助金制度を盛り込むことを提案。
(松島保育課長) 検討していきたい。
(早川委員) 「第 5 章 計画の推進に向けて」(92 ページ)において、地域との連携について具体性がない。
(古橋子育て支援課長) 今後、どのような団体と連携していくかを検討していく。

(小又委員)
子育てをする中で、鹿沼市の情報が手に入りにくいと感じる。ホームページの見やすさ向上や、ファミリー・サポート・センター等の情報にアクセスしやすくしてほしい。
(古橋子育て支援課長)
LINEでの行政サービス発信や、子育てガイドブック等を活用し、市民によりわかりやすい情報発信に努めたい。
(羽布津委員)
婚活イベントについて、官民で連携して実施できるような体制づくりが必要では。
(古橋子育て支援課長)
現在は市が主体として実施している婚活イベントはないが、官民で連携して実施する事業等について検討していく。
(田島委員)
市外在住で鹿沼市の保育園を利用する場合、また鹿沼市在住で市外の保育園を利用する場合の自治体間の連携について伺う。
(松島保育課長)
宇都宮市など、市外の保育園に広域申請をすることが可能。鹿沼市も同様。
(小野口委員)
こどもの乳幼児ふれあい体験事業について、中学校では実施しているが回数が少ない。小学校でも小学生向けの交流事業を拡充してほしい。
(古橋子育て支援課長)
中学校では３年生を対象に市内全校で実施。以前は小学校でも実施していたが、現在休止中。回数や対象については今後検討していきたい。
(青山委員)
保護者への経済的支援はもちろんであるが、児童に対しての子育てに関する学びの場やふれあいの場の提供にも力を入れていただけると、学校としてもありがたい。
(仲田委員)
子ども・子育て支援事業計画について、達成状況や今後の方向性を載せるだけでなく、各事業の概要や背景等も掲載したほうが良いのでは。
(古橋子育て支援課長)
掲載する内容について、今後検討していきたい。
(3) 保育園等の利用定員の変更について
資料 4 に沿って事務局より説明：竹澤保育認定係長
・令和７年度の特定教育保育施設の利用定員について、各施設より変更届け出があったことを報告。施設ごとの変更内容（増減数）とその理由を説明。
主な意見・質問：特になし

	(4) 今後のスケジュールについて 次第に沿って事務局より説明：古橋子育て支援課長 ・ 本日の結果を庁内部長会議で報告 ・ 2月中旬～3月上旬にパブリックコメントを実施 ・ 3月18日（火）に鹿沼市子ども・子育て会議を開催し、市長へ答申 ・ 令和7年4月から計画を開始		
	主な意見・質問：特になし		
	（星委員）議事（1）～（4）について、本内容により進めていくことで良いか。		
	（委員）異議なし		
	4. その他 なし		
	5. 閉 会		
配布資料	・ 会次第 ・ 若者の生活や意識に関する調査（資料1） ・ 婚活に関する調査結果（資料2） ・ 鹿沼市こども計画（案）（資料3） ・ 保育園等の利用定員の変更について（資料4） ・ 鹿沼市子ども・子育て会議委員名簿		
次回予定	3月18日（火）午後1時30分		
記 録 者	石 嶋		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 （該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要）			
公開・非公開の別	☒ 公 開 ・ 非公開	（公開の場合）傍聴人数	0 人